

(2) 教育課程の実施状況を評価して、その改善を図る

カリキュラム・マネジメントでは、実施中の教育課程を評価し、その問題点を明確にして改善を図ることが重要です。

次のような手順を進めます。

- ① 評価の資料を収集し、検討する。
→各種調査結果やデータの活用
- ② 整理した問題点を検討し、原因と背景を明らかにする。
→収集した評価の資料を分析
- ③ 改善案（短期的・長期的）をつくり、実施する。
→必要な体制や日程の具体化

学校の教育目標の実現

教育課程の実施について評価をする際には、以下の2つの評価を適切に行う必要があります。

教育課程

評価・改善

授業

評価・改善



- ア 各授業におけるねらいを達成しているか
- イ 教育課程の編成が効果的であったか

アについては、「新大分スタンダードのすすめ」に示されているように、「具体的な評価規準を設定し、それに基づき確かな見取りをすることが大切です。

イについては、各教科等の学習内容を関連させることで育成を目指した資質・能力について、学力調査などの結果を前年度と比較したり、教師や児童生徒等にアンケートを実施して分析したりすることにより、評価をする方法が考えられます。

特に、感染症対策や災害への対応など、緊急事態が起こった場合には、短期のPDCAサイクルにより、必要な体制や日程等を具体化することが求められます。

